

震災アーカイブ公開

東松島市図書館 — タブレット端末で閲覧

市民の証言、写真収集

防災教育の推進へ活用

東松島市は、東日本大震災での市民の体験談や写真などを集めてデジタル化したアーカイブの公開を始めた。ICT（情報通信技術）を活用して貴重な証言や資料を保存し、全国に向けて公開することで、風化の防止や防災教育の推進に生かしていく。

市図書館のホームページ（iPad（アイパッド））財団の助成事業。図書館きた。事業は本年度末まで（HP）上か、図書館で見ることができる。公職員4人が昨年6月からに10台あるタブレット端末 益財団法人・図書館振興 取材や編集に取り組んで化を旨指して作業を続けている。



体験談は、これまでに

10～80代の市民90人を取
材し、文章やインタビュ
ー映像にまとめた。震災
発生当時の様子や支援へ
の感謝、被災して得た教
訓、復興に向けた決意な
どを語っている。HPで
はダイジェスト版、図書
館の端末では完全版を見

図書館にあるアイパッド
でも公開しているアーカ
イブ―東松島市図書館

ることができる。

写真は市民にも提供を
呼び掛けて約2000枚
を集めた。現在は300
枚ほどを公開している。
震災に関連した書籍や、
避難所や仮設住宅で配ら
れた手作り新聞なども収
集し、HP上で検索でき
るようにした。新聞記事
の見出し約3000件も
データ化した。

市はアイパッドを学校
や自主防災組織などの団
体や企業に貸し出し、防
災教育や訓練に活用して
もらう方針。希望者は図
書館に相談する。
加藤孔敬副館長は「職
員が直接聞き取りしたの
で、市民が気兼ねなく体
験談を話してくれた。今
後とも内容の充実化を図
っていく」と話した。